

平成 27 年度から平成 30 年度までの常任委員会活動評価総括表

総務地域連携常任委員会		各委員（理事）の評点の平均点				評価の視点（自由記載抜粋）
		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	
	(1) 年間活動計画の進捗度	3.8	4.3	3.8		・「ワーク・ライフ・マネジメント」から「働き方改革」への議論の進化ができなかったように思う。（平成 28 年度）
	(2) 委員会運営の円滑度	3.6	4.3	4.0		・各委員の発言を促し、それらを的確に委員長報告等に反映していただけた。（平成 28 年度） ・委員長報告の内容について、活発な議論・積極的な提案等、うまく運営されていたと思う。（平成 29 年度）
	(3) 議員間討議の充実度	2.8	3.4	4.8		・議員間討議となるような論点を、正副委員長から提示していただけるとより良かった。（平成 28 年度） ・委員間討議をする必要がなかった。（平成 28 年度） ・活発な協議がなされたと思う。（平成 29 年度）
(4)	県内調査の充実度 （平成 27 年度のみ）	3.9				
	県外調査の充実度 （平成 27 年度のみ）	3.9				・タイムリーで内容も充実しており大変良かったです。（平成 27 年度）
	県内外調査の充実度 （平成 28～30 年度）		4.6	3.9		・大変有意義な調査先を選んでいただいた。現場の生の声をその現場で聴けたことは良かった。（平成 28 年度）
(5)	参考人招致の活用度 （参考人招致を行った場合のみ評価） （平成 27 年度のみ）	-				
	公聴会の活用度 （公聴会を開催した場合のみ評価） （平成 27 年度のみ）	-				
	調査・審査への活用度 （平成 27 年度のみ）	-				
	県民など多様な意見を活用した調査・審査の充実度 （平成 28～30 年度）		3.8	3.5		・「ワーク・ライフ・バランス」を含めた県庁の働き方改革について、提言をしたコンサルタントの参考人招致をするなど、総務部の取組にかかる外部意見等の把握にもう少し力を入れると良かった。（平成 28 年度）
(6)	施策への反映度 （平成 27 年度のみ）	3.2				
	調査・審査結果の施策への反映 （自由記載のみ） （平成 28～30 年度）					・特に意見の多かった移住促進と地籍調査対策の充実について平成 29 年度当初予算等へ的確に反映できたと考える。（平成 28 年度） ・平成 28 年版成果レポートに基づく今後の「県政運営」等に係る意見で申し入れた。（平成 28 年度） ・議員提出条例等について検討した。（平成 29 年度）

※評価は 5 点満点です。（5 点・大変良くできた、4 点・良くできた、3 点・概ねできた、2 点・あまりできなかった、1 点・できなかった）

※平成 28 年度に評価項目の見直しを行いました。

戦略企画雇用経済常任委員会		各委員（理事）の評点の平均点				評価の視点（自由記載抜粋）
項目	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度		
(1) 年間活動計画の進捗度	3.9	3.8	4.3		・ 行政の計画以外の調査項目を深めるべきだった。（ポストサミットなど）（平成 27 年度）	
(2) 委員会運営の円滑度	4.1	4.0	4.6		・ 委員長の進行が巧みなおかげで円滑に進んだと思います。（平成 27 年度）	
(3) 議員間討議の充実度	3.2	2.9	2.6		・ すべての項目で十分討議したとは言えなかった。（平成 27 年度） ・ 委員会としての政策立案のプロセス・手法として活用すべき。（平成 29 年度）	
(4)	県内調査の充実度 （平成 27 年度のみ）	4.0				
	県外調査の充実度 （平成 27 年度のみ）	4.1				
	県内外調査の充実度 （平成 28～30 年度）		4.5	3.7		
(5)	参考人招致の活用度 （参考人招致を行った場合のみ評価） （平成 27 年度のみ）	-				
	公聴会の活用度 （公聴会を開催した場合のみ評価） （平成 27 年度のみ）	-				
	調査・審査への活用度 （平成 27 年度のみ）	3.4				
	県民など多様な意見を活用した調査・審査の充実度 （平成 28～30 年度）		3.1	3.9		
(6)	施策への反映度 （平成 27 年度のみ）	3.6				
	調査・審査結果の施策への反映 （自由記載のみ） （平成 28～30 年度）				・ 委員会意見の相当部分が反映したと評価している。（平成 28 年度）	

※評価は5点満点です。（5点…大変良くできた、4点…良くできた、3点…概ねできた、2点…あまりできなかった、1点…できなかった）

※平成 28 年度に評価項目の見直しを行いました。

環境生活農林水産常任委員会		各委員（理事）の評点の平均点				評価の視点（自由記載抜粋）
項目		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	
(1) 年間活動計画の進捗度		3.9	3.9	3.8		
(2) 委員会運営の円滑度		4.4	4.0	4.1		
(3) 議員間討議の充実度		3.6	2.7	3.4		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 議案によってですが、充分活発に討議された。（平成 27 年度）</li> <li>・ 議案によっては、積極的に行った。（平成 27 年度）</li> </ul>
(4)	県内調査の充実度 （平成 27 年度のみ）	4.4				<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 当委員会の所管事項について、もう 1 日必要であった。（平成 27 年度）</li> </ul>
	県外調査の充実度 （平成 27 年度のみ）	4.4				
	県内外調査の充実度 （平成 28～30 年度）		4.0	4.1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 内容等には課題はないと思うが、議会費全体の削減議論もある中、日数の見直しは必要では。（平成 28 年度）</li> <li>・ 県内調査の箇所数を増やしてほしい。（平成 29 年度）</li> <li>・ 県政の状況や課題について、事前に執行部との意見交換や勉強会などがあればさらに良かった。（平成 29 年度）</li> </ul>
(5)	参考人招致の活用度 （参考人招致を行った場合のみ評価） （平成 27 年度のみ）	-				
	公聴会の活用度 （公聴会を開催した場合のみ評価） （平成 27 年度のみ）	-				
	調査・審査への活用度 （平成 27 年度のみ）	3.9				
	県民など多様な意見を活用した 調査・審査の充実度 （平成 28～30 年度）		3.0	3.0		
(6)	施策への反映度 （平成 27 年度のみ）	3.5				
	調査・審査結果の施策への反映 （自由記載のみ） （平成 28～30 年度）					<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 信号機等の設置についての取組が、他委員会とも連携して進んだことは良かった。ソーラー開発についての里山保全面環境面での要求はもっと強めても良かった。（平成 28 年度）</li> </ul>

※評価は 5 点満点です。（5 点・大変良くできた、4 点・良くできた、3 点・概ねできた、2 点・あまりできなかった、1 点・できなかった）

※平成 28 年度に評価項目の見直しを行いました

医療保健子ども福祉病院常任委員会 ※平成29年度までは、健康福祉病院常任委員会		各委員（理事）の評点の平均点				評価の視点（自由記載抜粋）
項目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度		
(1) 年間活動計画の進捗度	4.0	4.3	4.4		<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間活動計画に沿って、内容ある活動ができた。（平成28年度）</li> <li>・国保の都道府県化については、しっかりできたが、それ以外は執行部の計画が多くあまり進まなかった。（平成29年度）</li> </ul>	
(2) 委員会運営の円滑度	3.9	4.1	4.4		<ul style="list-style-type: none"> <li>・健福分と病院分のボリューム差異が大きい。（平成27年度）</li> <li>・制限のある時間の中で、追い立てられる感もあった。（平成29年度）</li> <li>・多量な内容をスムーズに運営していただきました。（平成29年度）</li> </ul>	
(3) 議員間討議の充実度	2.9	2.6	3.4		<ul style="list-style-type: none"> <li>・不慣れなため、うまく発言できなかった。（平成27年度）</li> <li>・議員間討議を十分には活用できなかった。（平成28年度）</li> <li>・討議はあまり進まなかったように思う。（平成29年度）</li> <li>・国民健康保険県域化や子ども医療費窓口無料化についてしっかりと議員間討議ができた。（平成29年度）</li> </ul>	
(4)	県内調査の充実度 （平成27年度のみ）	4.3				
	県外調査の充実度 （平成27年度のみ）	4.4				
	県内外調査の充実度 （平成28～30年度）		4.5	4.1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・有意義でした。（平成29年度）</li> <li>・福祉関係の調査内容は市町村業務がベースになっているものが少し多かったか。（平成29年度）</li> </ul>	
(5)	参考人招致の活用度 （参考人招致を行った場合のみ評価） （平成27年度のみ）	-				
	公聴会の活用度 （公聴会を開催した場合のみ評価） （平成27年度のみ）	-				
	調査・審査への活用度 （平成27年度のみ）	-				
	県民など多様な意見を活用した調査・審査の充実度 （平成28～30年度）		3.8	3.4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボリュームが多すぎたため参考人招致などを行う余裕がなかった。（平成29年度）</li> </ul>	
(6)	施策への反映度 （平成27年度のみ）	3.6				
	調査・審査結果の施策への反映 （自由記載のみ） （平成28～30年度）				<ul style="list-style-type: none"> <li>・国児学園の環境整備に関して、県内調査の結果として意見を申し入れ、施策に反映することができた。（平成28年度）</li> <li>・みえ家庭教育応援プランについて、子ども条例の理念を反映するよう求め実現した。（平成28年度）</li> <li>・国保の都道府県化について、委員長報告を行うことができた。（平成29年度）</li> </ul>	

※評価は5点満点です。（5点・大変良くできた、4点・良くできた、3点・概ねできた、2点・あまりできなかった、1点・できなかった）

※平成28年度に評価項目の見直しを行いました。

防災県土整備企業常任委員会		各委員（理事）の評点の平均点				評価の視点（自由記載抜粋）
項目	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度		
(1) 年間活動計画の進捗度	3.1	4.1	3.8		・建設産業の活性化にかかる重点調査項目についての調査が不十分であった。（平成 27 年度） ・入札制度改革が不十分。（平成 27 年度）	
(2) 委員会運営の円滑度	3.5	4.4	3.8			
(3) 議員間討議の充実度	3.1	3.8	2.6		・テーマの設定を意図しないと難しい。（平成 29 年度）	
(4)	県内調査の充実度 （平成 27 年度のみ）	3.3			・議論すべき課題について十分な討議を行うことができた。討議ポイントを事前に明確にしておくことができればより良かったと思われる。（平成 27 年度）	
	県外調査の充実度 （平成 27 年度のみ）	3.4				
	県内外調査の充実度 （平成 28～30 年度）		4.6	4.3		
(5)	参考人招致の活用度 （参考人招致を行った場合のみ評価） （平成 27 年度のみ）	-				
	公聴会の活用度 （公聴会を開催した場合のみ評価） （平成 27 年度のみ）	-				
	調査・審査への活用度 （平成 27 年度のみ）	-				
	県民など多様な意見を活用した調査・審査の充実度 （平成 28～30 年度）		3.6	3.8		
(6)	施策への反映度 （平成 27 年度のみ）	3.5			・RDF の総括ができたことは良かった。（平成 27 年度）	
	調査・審査結果の施策への反映 （自由記載のみ） （平成 28～30 年度）					

※評価は5点満点です。（5点…大変良くできた、4点…良くできた、3点…概ねできた、2点…あまりできなかった、1点…できなかった）

※平成 28 年度に評価項目の見直しを行いました。

教育警察常任委員会		各委員（理事）の評点の平均点				評価の視点（自由記載抜粋）
項目	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度		
(1) 年間活動計画の進捗度	4.4	3.6	3.5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 充分良いものでありました。（平成 27 年度）</li> <li>・ 防災教育の部分がやや弱かった。（平成 28 年度）</li> <li>・ 防災対策・防災教育については不十分であったかもしれない。（平成 28 年度）</li> </ul>	
(2) 委員会運営の円滑度	4.1	4.1	3.8		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 他部局と共管している事項（教育施策大綱、子ども貧困対策など）についての調査・審査の進め方に課題を残したと 思っている。（平成 27 年度）</li> <li>・ 予備日まで使い丁寧に議論を重ねた。（平成 27 年度）</li> </ul>	
(3) 議員間討議の充実度	3.5	3.9	2.9		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特に大きな争点がない場合に議員間討議の充実を図ることは難しい。（平成 27 年度）</li> <li>・ 県内外調査・高校生県議会などの内容について討議を活用できた。（平成 28 年度）</li> </ul>	
(4)	県内調査の充実度 （平成 27 年度のみ）	4.4			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 良い学習ができた。（平成 27 年度）</li> </ul>	
	県外調査の充実度 （平成 27 年度のみ）	4.5			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 良い学習ができた。（平成 27 年度）</li> <li>・ 特に只見高校（への調査）が取り組みに大変役立った。（平成 27 年度）</li> </ul>	
	県内外調査の充実度 （平成 28～30 年度）		4.0	3.8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 次期県立高校活性化計画の策定の議論に特に役立てることができた。（平成 28 年度）</li> <li>・ 県立水産高校（実習船）は特色のある県立高校としてしっかり認識を深められた。（平成 28 年度）</li> <li>・ 高校活性化、学力と体力の向上などしっかりと調査できた。（平成 28 年度）</li> </ul>	
(5)	参考人招致の活用度 （参考人招致を行った場合のみ評価） （平成 27 年度のみ）	4.0			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 参考人の意見により、賛否そのものが変わるほど役立てた。（平成 27 年度）</li> <li>・ 今回は必要性に若干疑問があったが、今後必要な参考人招致は積極的に行うべき。（平成 27 年度）</li> <li>・ 良い意見が聞けた。自分として勉強ができたが委員会としては？（平成 27 年度）</li> </ul>	
	公聴会の活用度 （公聴会を開催した場合のみ評価） （平成 27 年度のみ）	-				
	調査・審査への活用度 （平成 27 年度のみ）	2.4			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教育警察常任委員会に関するテーマが少なかったように思うし、参加できていないものもあったので。（平成 27 年度）</li> <li>・ 内容を十分に把握し、反映させることができなかった。（平成 27 年度）</li> <li>・ 直接のテーマではなかった。他の質問も必要ではないか。（平成 27 年度）</li> <li>・ 委員がしっかり認識できるしくみづくりが必要。（平成 27 年度）</li> </ul>	
	県民など多様な意見を活用し た調査・審査の充実度 （平成 28～30 年度）		3.6	2.8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高校生県議会については、予算議論にも役立てることができた。（平成 28 年度）</li> </ul>	
(6)	施策への反映度 （平成 27 年度のみ）	3.6				
	調査・審査結果の施策への反映 （自由記載のみ） （平成 28～30 年度）				<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「交通安全施設の整備」「次期県立高等学校活性化計画（仮称）」については特に委員長報告をとりまとめ、来年度予算 や次期計画へ大いに反映して頂いた。（平成 28 年度）</li> </ul>	

※評価は5点満点です。（5点・大変良くできた、4点・良くできた、3点・概ねできた、2点・あまりできなかった、1点・できなかった）

※平成 28 年度に評価項目の見直しを行いました。

予算決算常任委員会		各委員（理事）の評点の平均点				評価の視点（自由記載抜粋）
		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	
(1) 年間活動計画の進捗度		4.3	4.1	4.0		<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度の進め方については評価できるが、当初予算要求状況についての質疑のあり方については、再検討してよいのではないかと感じた。（平成 27 年度）</li> <li>・先議案件も適切に対応できた。（平成 28 年度）</li> <li>・例年どおりできたと思う。（平成 29 年度）</li> </ul>
(2) 委員会運営の円滑度		4.3	4.0	4.3		<ul style="list-style-type: none"> <li>・委員長報告や成果レポートは、委員会や分科会での意見等を総括的に適宜・適切に反映させ、知事に申し入れを行った。総括質疑を正副委員長の分割運営（午前・午後）で実施し、その充実を図った。（平成 28 年度）</li> <li>・待機席の移動、答弁者の簡素化等、新しい試みができる。（平成 29 年度）</li> </ul>
(3) 議員間討議の充実度		3.1	2.9	3.6		<ul style="list-style-type: none"> <li>・分科会で充実した議論があれば、なかなか本委員会で討議しにくい面がある。（平成 27 年度）</li> <li>・本年度も議論を二分するような案件がなかったこと。また、各分科会において詳細に慎重審議されてからの本委員会での議論となることから、討論の時間を設けたが行われなかった。（平成 28 年度）</li> <li>・委員長報告に対する執行部対応について、不適切な誠意ない答弁に対して委員長の計らいによって、すぐに対応していただいた。（平成 29 年度）</li> </ul>
(4)	県内調査の充実度 （平成 27 年度のみ）	-				
	県外調査の充実度 （平成 27 年度のみ）	4.0				・本県の方が改革の取り組みが先進的であった。（平成 27 年度）
	県内外調査の充実度 （平成 28～30 年度）		4.1	4.3		<ul style="list-style-type: none"> <li>・総務省：地方財政をめぐる情勢や財源確保に向けた国の考え方など。三重テラス：県財政の観点からの調査。茨城県：資金調達の多様化の取り組み等の調査。など、その後の調査・審査に活用できた。（平成 28 年度）</li> <li>・大規模災害等の議会マニュアルに反映されつつある等、充実した。（平成 29 年度）</li> </ul>
(5)	参考人招致の活用度 （参考人招致を行った場合のみ評価） （平成 27 年度のみ）	3.1				<ul style="list-style-type: none"> <li>・講師をもう少し考えるべき。（平成 27 年度）</li> <li>・講師の人選にはさらに慎重にしてください。参考人招致の実施は良かったと思います。（平成 27 年度）</li> </ul>
	公聴会の活用度 （公聴会を開催した場合のみ評価） （平成 27 年度のみ）	-				
	調査・審査への活用度 （平成 27 年度のみ）	-				
	県民など多様な意見を活用した調査・審査の充実度 （平成 28～30 年度）		3.8	3.9		<ul style="list-style-type: none"> <li>・県外調査の実績を活かした参考人招致を実施した。今後の調査・審議の参考となった。一層この種の調査を有効的に活用できるよう、定例的な年間活動計画との調整を図り、開催時期を検討すべき。（平成 28 年度）</li> <li>・総括質疑の際、質疑者の質疑開始時間が分からないとの県民の声を受け、事項書に開始予定時間を追記し、改善を図った。（平成 29 年度）</li> </ul>
(6)	施策への反映度 （平成 27 年度のみ）	3.4				・成果レポートに対する知事への申し入れが、常任委員会によって量に差がある。できるだけ一定量は出して欲しい。（平成 27 年度）
	調査・審査結果の施策への反映 （自由記載のみ） （平成 28～30 年度）					<ul style="list-style-type: none"> <li>・厳しい財政への提言が弱い。（平成 28 年度）</li> <li>・平成 30 年度当初予算（案）の説明が議案聴取会で不十分・不適切であった点やこれまでの予算議論・委員長報告等を踏まえた予算編成とするなど、改善するよう委員会として指摘を行い、予算の執行方法を見直すなど、一定の改善を図ることができた。（平成 29 年度）</li> </ul>

※評価は5点満点です。（5点・大変良くできた、4点・良くできた、3点・概ねできた、2点・あまりできなかった、1点・できなかった）

※平成 28 年度に評価項目の見直しを行いました。